

目次

1	VBNETCTL の操作手引き	2
1 - 1	起動画面	2
1 - 2	ボタン	2
2	処理機能	3
2 - 1	複数台の起動及び表示	3
2 - 2	VBNETTST を起動して表示したい分送信を行う	3
2 - 3	起動又は一括起動で VBNETDSP を起動し監視画像を表示する	4

1 VBNETCTL の操作手引き

1 - 1 起動画面

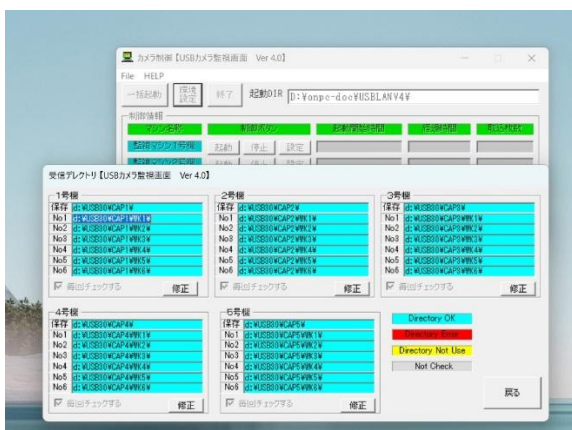


1 - 2 ボタン

- ・ 設定ボタン



- ・ 環境設定ボタン



- ・ 終了ボタン：処理を終了します
- ・ 起動ボタン：VBNETDSP を起動します
- ・ 一括起動：VBNETDSP を 6 回分起動します

2 処理機能

2-1 複数台の起動及び表示

2-2 VBNETTST を起動して表示したい分送信を行う

- ① VBNETDEF を起動してディレクトリを作成し保存で INI ファイルを作成する



- ② VBNETTST を起動して初期設定ボタンで INI ファイルを読み込む

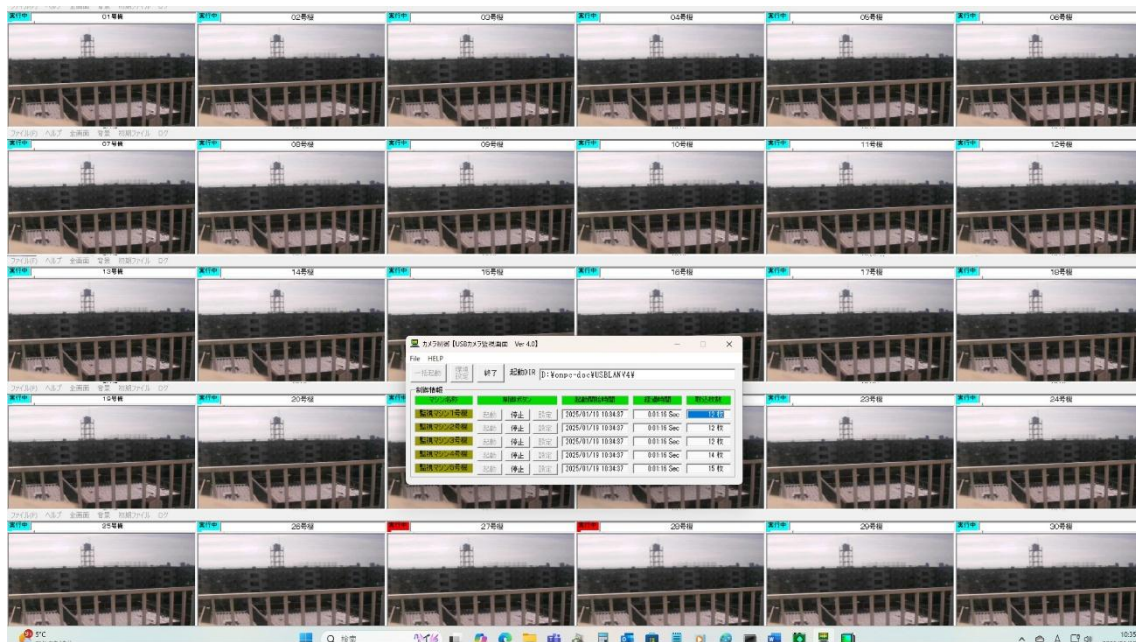


- ③ VBNETTST の設定保存で INI ファイルを作成する

- ④ VBNETTST で起動したいカメラ分の映像送信を行う



2 - 3 起動又は一括起動で VBNETDSP を起動し監視画像を表示する



・メイン画面



- ・ 終了ボタンで処理を終了
- ・ 停止ボタンで一時停止します